

小・中学校と地域の交流を紹介

みたねの学校

令3 第11号
— 発行者 —
教育活動推進員
渡邊 清彦

地域への子どもたちの思い 町内全小・中学校でアンケート実施

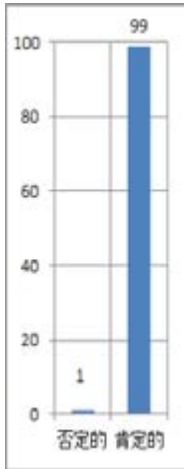
今年度も町内の各小・中学校では学校支援事業として様々な地域と関わる行事を行ってきました。年度末を機にこの事業に関する子どもたちの思いを把握するためアンケートを実施しましたのでその結果をお知らせします。自己評価は肯定的（思う）か否定的（思わない）かで答えてもらいました。※対象は小6と中3、数値は%

【今年度の主な学校支援事業】

- ・登、下校時の見守り活動
- ・読み聞かせ
- ・クラブ活動の指導
- ・花壇、農園活動の協力
- ・地域のクリーンアップ
- ・伝統芸能の指導（番楽、歌舞伎等）
- ・J A食農体験への協力（料理教室、リンゴ狩り等）
- ・さつまいも販売と新商品開発協力

Q1 地域の方と関わる行事は楽しかったですか。

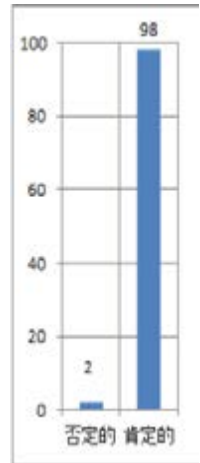
【集計結果】



ほとんどの子どもたちが地域の方と関わる行事に楽しさを感じていました。

Q2 行事では地域の方と交流することができましたか。

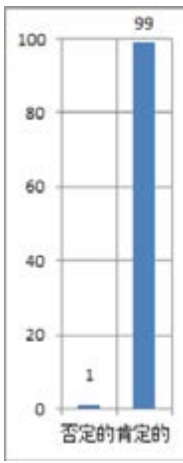
【集計結果】



ほとんどの子どもたちが行事を通して地域の方と交流できて感じていました。

Q3 交流した地域の方の思いが伝わりましたか。

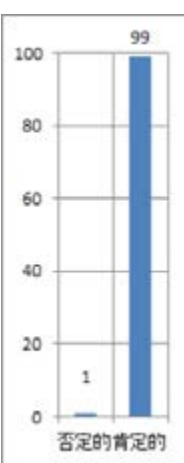
【集計結果】



交流しながら行事に参加した地域の方の思いを子どもなりに感じ取っていました。

Q4 これからも地域の方と交流したいですか。

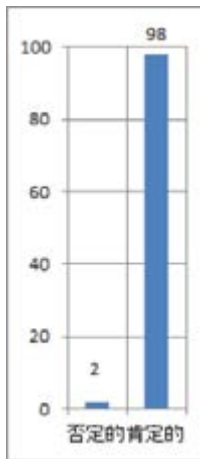
【集計結果】



ほとんどの子どもたちが今後も地域の方と交流したいとの思いをもっていました。

Q5 将来、地域のために力になりたいと思えますか。

【集計結果】



いっしょに活動しながら地域に貢献したいという思いが強くなったようでした。

Q6 地域の方と交流する行事に参加した感想

【一部抜粋】

- ・自分の知らなかった地域の良さに気付くことができた。
- ・地域の方が優しく接してくれて嬉しかった。
- ・読み聞かせで地域の伝統を知ることができて良かった。
- ・地域の伝統芸能を知ることで良かった。自分も引き継いでいきたい。